東部滿

嶽 國

境上縱

斷

なる御言葉を唱はり窓渡して

タリー軍職開催五後の襲撃を受けた、卒襲警報で戦楽した数千の

に後述し市中は非常な混乱をい

選擧違犯既に 十七議員起訴

信任狀捧呈許中國大使

全権大使許世英氏は六日信

曾均等を要求せん

リアノン條約を破棄の意向

1.體制またも危機

かんな歡迎

しく宮内省が疑しの馬叫にて沿道市民の戦迎、森院を強へ凱旋將軍の橋を襲はり動章も駆か、武廷は黎戦し九西隆市将、林大佐、名波副官の 金融大使南大郎大将は颱東軍参昭長から参談と明れの逃避をなした前陽東軍司令管重駐前

なる動語を賜はり、次いで西尾、岩越、 等内壁相、宇佐美侍能武官長等侍立の上御削

矢來の外へもひしめいて來る。

前に首を描に振った。 カラカラと矢束の竹の先が窓風

しやつたので

花畵 治作

苺 型

3- 4馬力 5- 6馬力 7- 8馬力 10-12馬力 15-17馬力

15-17馬力型

(86)

愛用者ノ聲ハ機械ノ属價ヲ語ル

七花八裂

では失格すると勿論であるが確然十人の進度が確定する場合におい

【ロンドン六量に通】六日のデー

に埋滅於据景後(五月末頃)を期 し庶よ首相の地位を去つて後職首 ールドウイン氏が耳疾品進の理

結核豫防へ拍車

ふ本府に開か

出有路の美を結ぶべくその後引機

蘇聯の長龍子園境衛三哨から原状

課躍る國境の

井上司令官入城

各道に支那を設立する 天真郡に一泊の後、明七日午前
大真郡に一泊の後、明七日午前
に横歩朝鮮神宮に参拝、総督府
に横歩朝鮮神宮に参拝、総督府
に横歩の年曜〇年を
で、同六時半朝町神田での晩餐
で、成功時半朝町神田での晩餐

能された内間調査局にかける生産

天地文黃

つて行った。健康どほり彼女たち この時と、なほ興 その他の語の話園 の連続! 遂げてゐたのであ 数珠を手にかけた 房の憲に香華をそ かりの位別で









徹底師に、念佛は地上から一掃さ

ところの法敵吉尔

ンエ //子カ馬 强夷一

なかった。見るまに、二個の死職

発

I

二聲といる間が

7

朝のやうに心能を

つた。 へびろがった、単 (ひろがった、単

ルセ揮

`_ F"

がれて、

立したと

に振り落した。住連も、怠幌をはつと、飛吏はあわてく、刀を

一盤、安梨房の口から、

色に凍つてゐた。

價值々愈

ルセーチー 一面時一番料燃

14-16馬力型

50-60馬力型 28-32馬力型

100-1208力 御一報次第赠呈

型 쭢 50- 60馬力 75- 90% t

詳細型錄及納入先名簿

が名できなかつた。

戦師の駆け込み罪へに、 ぐ、如意を描く分け入、松田と路虫の帰。 三人、自然して死と関の小師のうち でいざいます。風

首

時間五十分二十二十十一

正にマラソン日本を出現す

米、佛領事館の犬を

(日本類原語) <mark>◆立中跳</mark> (日本類原語) |

殿理館内里观館では、五日午前十級の礎えなかつたキリスト教語館

標年頃に終ったが高端が寂寞せん。人とするや、反弦師派は吹ぶっこ。景別後と、今ルメルの建敏は一千人を終れる大雲譚飛一勝から日脳の解釈を任めた後等。日午後七勝年から夜の曹親にから、誠べ中に流のでは、五日午町十一となったが大事に至らす、題に膨、れた、六日重脳原素を乗び出し恵。近く人札に附し直ちに若工本年内観の避えたかったキリスト報調新。耐を演し一時補男と義邦常は思惑、川覧戦か殿権順夜の曹親は中止さ、米鹽館は底に認識を濁けしたので観の終えたかったキリスト報酬拡展を何、投師支修祀の一人の報画を勝邦典・らひきすり作さうとするので小は「に三十萬風を以つて死誕される鮮」に三十萬風を以つて死誕される鮮

四里教會牧師派と反對派の争びは高まり

教壇の牧師を降さんとす

とする際、現牧師無斥派の一人が一の牧師は遺格がない』と禮拝山か

んとするや、皮状脈がは吸べてこの説別後に

十哩マラソ

いので値かで異常な精造振りを示 かも一者から五句までその歪は

着中村(早大)二分三一砂一

の色味をおびたものを標準として

山里金が塔(か)で府内郷が町、〇 取調べると京歌道海川郡帯山南高

あったことを自供した 香地先で自轉車を鍛んで決走中で

山泥棒花嫁 男が後から糸を引き

劇のクロスランド選手によつて作 行された、廿哩鼠崩マラソンで

一者隠龍(四周青年)一十里紀離マラソン日本の意宗を高くした られた世界記録一時間五十一分五

|脊組度(麻須健育供製部)||時 コレート色の別戦は色がよごれや||で自興戦に乗って廃進中の庇健風||分三十二秒(世界新記録) |分三十二秒(世界新記録) らしく各等の色帯をつけることに すいので調料色にぬりかへられ新 濃緑に變ふ 輕快列車を 今後は緑系統にする

はて、選定するので東大門署政が一館のセバード番犬をこの手で捕つがつてゐる

てそれと、一四一週五十銭で西大

盗んで衝突

なつた。耐して今後机動の色は鎌一金甲酸了ごと正面衝突、勝声男「自風位の一匹を繋なくにいみつけ、けしてある。用部事前では家族は は自分の自転車を施てそのました。て加渡、さらに四日ノランス領事。除りのやり方に源を流してくやし |順大震しをやつてめた途観を利用||薬では虚をむいてソルナッキンの「ました、ふとで"人が北渡の土曜」もつて海走中なので単位器では大・麒師町七九ノ三製金一成。『(はは、門町の立武岳崔朝門方に置り、同一から席の子。上間を辞典、姿を順「秋は高り)何しら四十歳の質難を

寒つて灰人と巻の紫外散炭に出か「瀧線をまつしぐらに輸出し、西火 二人は歌画その他に住我をしてゐ」は日年後、韓頃東馬に、絜水彫が」して日點の人出で淑疎してゐる解 ゐるが内出眺で版席の旅感。他の 引出して持遂げした事判りピック の府会一千五百魔を順時代部から の府会一千五百魔を順時代部から の府会一千五百魔を順時代部から が一方日東沿したが、六日豊子 が一方日東沿したが、六日豊子 の行会一千五百家の一方日本

三人をはねてなほ暴れ廻る

御食膳に イキングに

御註文は代引にて御这时可申上候



世であるのを優見原因は病気で厭恥永問面桐井里朴器度(よ)が自殺

也固參拾貳金價特

製料 (電話本場) 生徒募集。本英語科一年初語言時間故中學上版語是





語事務量見雪を黎集中であつたが、六日午前九時から同局設なつて法つて地ぐ交後壁の棚充に京城中央電話局では食て軍

一圓、一圓五十錢、

員券

京城府民舘大講堂 四月九日午後七時半

宮

富

お嫁さんになった人々の

あとに入る娘さんたち一

現代一流大家洋畵展 並前田寬治遺作展

るた山東方面からの質弱船

は六日の大潮を利

、五日中には拠々封省のでゐる、上流からの

京銀 城日報

筋の喚問を受け候節は辱知諸彦より御懇篤なる御見舞を忝

認候補者に關聯せる選擧違反事件に付長崎縣において、其

阿縣支部長牧山代議士には民政派某公

弊社長立憲民政黨長於

非确美、金剛萬、朴井獎、應秦 等、黃仁國、郡壯煥、金寮祖、 善、黃仁國、郡壯煥、金寮祖、 華生法、潘忠宣、朴勝論、尹永

推學會員及 受賞者決定

島間を削き拡撃的質と脊陽質質受 時より五階まで実術館に於て翻録 ふし御芳情感激の至りに不堪候然るに取調べの結果事件無

M者とを決定した、新館様に推翻 - 窓属す徳へ四月十日迄三伽郵送り地人、女學校卒業程度、即應排り地人、女學校卒業程度、即應排 は不取敢紙上を以て御禮申述度如斯御座候 事解決四日長崎驛發列車にて東上仕候間御休神賜はり度先

瑞西コロネツクス

ՓՓԳ**ՓՓՓՓՓՓՓՊՊԻՆԻԻՐԻՐԻՐԻՐԻՐԻՐԻՐԻՐԻ**

聞 社

朝 鮮

敬

日

質問他中の整陽暦では五日午後日

杏一つんの一氏である、その内で 常は服装(ござ田川職夫ごご新羅の併田三郎氏ごござ春陽瀬豊豊賞 されたのはきつすいの番階度育ち も原告は展進を除めた本年度展開



一個二限ッ特價提供 プウオッチ會心製

院第 Ø 村木時計 M 村木時計 元興運動具商會京城府壽松町七四番地京城府壽松町七四番地 高 野 京城長谷川町 京城本町二丁目 作 湿店

安東電話一颗砂江は流水大道にてゐたもので、判明した問資金は、金を住前兵士に題ることになった が一間をひきつれて料等で感覚しひ、 常局の目をかすめるため選問を融一六日から、近町、第一町、縦飛山 び、後は當日一番脳をしめたもの。帶の家院を訪ね不應品をわけて貫 山のやらに探めて、その處分

勝夏高は一庭園を下らす、しかも「鰻豚料人賣原域分頭第九分割では四種町の劉紹典名で行じ、一日の「一」フォンイーショルは

Ľ

ス ŀ

泥棒

U

つめ

は最早時間の観題とみられてゐる

九分會活躍 國防婦人會第

取過べを傾けてあるが、彼等は昨

年暮から一回千圏を戦位として東

疑者につき合自地事部長が引取さ

始めとした一味八名からなる統士。運してゐる、尚述亡者四名につい

一月以降三月本日まで十二萬圓に

漢城商業學校

今年の人學

逃走の四人を追求中

京城本町署で追求中の諸頭殺者を

階厚事件は身横狗東中の四名の被 ては極力行方を理査中

航行始まる

少な馬め釋放され、次いで昭和九 中にも住込物籍で同器で搬場、年 いく住込み別益を働き懲役一年六 書で調査した結果、環は明和七世(20)はおだ捕はれないが加 龍山のピストル防盗谷総省

あった、彼ば潜土加氏方には重か 十日許り別に京城府職業都作所を **張少年 旅術所を出所したばかりで** 月に處せられ、去る二月十日愈

一百圓の犬も一圓五十錢

ソルナンタンの材料にする

界を世界するために六日午後、 治反は約二週間の度だで内地映画 原語では分島跨長以下協

爾を明き五十名出牒の下に一面談職時より丸の内マーブルに顧踪無観

#11-11-マヨネーズ

クロム側無地十七型

在學基運動具店 京城府中學町一二番地 藍色2001四

京城運動具商會京城府本町一丁目

也圓四拾貳金價特

部で廃はれたもので () 歴報の昨年

講師

京城YMCA學校

電話 本局 六七九番 長台川町(公會堂南上) 東达四月

松竹梅酒造株式會社

客便と結婚して同様、その夜半方 は結婚しては家城まで持ち逃げも 西大門署へ突き出された

世

界

的

泉遊道始興郡生れ袭中獲合をは昨一の現金と聞を終み逃げ出したのを一てゐたが五日逃行漆町三ノ三三

全くひどい女途に捕へらる

| 講演 (富) 資本売▲七時三五/ JOAK唱歌隊▲六時二五 ▲八時三曲(東)川瀬里子▲分級味講演(東)瞭本幸太郎

他主催機能を関する本 一番の領域に旋駆的人気を関せる本

會員券

來る九日夜京城府民館に於て開催 野自然の前頭をすることとなった されるが、一个同左記の簡析に於て

部江原の風とは当の風には

北尾の単常 南(の風) は感は前後

部成北 の風 る時を明かれ、 一般南北 北西乃 大額は曇りだ

六日朝の概況

五十銭等(一階正面度)一回ので御利用をおすすめする

手始めに次々と甘い男をさがして

近を通行中を赤の友人に見付かり

選米館町の京城供売部構内 | 武石(º ...)が自分の銀額にモダント | 午後 | 時間改良 | 支展金として支料

「憐んであることを知つた師里養成」」を紹介、結婚話しをすくめ五日は釈放に結婚の出来ののを極度に「長沙町二一越氏の娘金竇踏さん(ご 島陽都元堂面元堂里玄医成者(こ)。ガールがゐるから結婚とよと京城

暴れ出し乗り手をその場に振り落一

け、阿幌町職業學校則にさしから

つた時、何に渡いたが輩氏の馬は一氏(水)その探検明像(デ)及び古村、中である

門署の前で極北町一九ノ二號劉令るが、事性は淑女隊に移し取調べ

けとばし、春駒は能勢をかつて光 町二〇巖能雲さん(10)の三人を

化門交叉脈でやうやく押へられた

劉婆さんは赤十字病院に入院して

關屋敏子孃獨唱會

全鬼の風りは悪いなりのは前後に

春

開北 の風がある

全般天氣豫報

近く入札す



た組代やの修家の名詞として今 「理様開選記師」と指いたこの けんろうことが利用する アが親連婦人の選示であること が利用する アが親連婦人の選示であること は高質が説明してめるこの子紙 全部製造事業である によってよくわかることと思ひ と考へてのます。かくすることには、制定型人の選示である からテョン・ザンを力で作品に してもまた・新風に対しても立たでは、地でしては、対か、つて「親定型人の選示」を方でした。 と考へてのます。かくすることを立むに説明してみるるたり次 ケフたものです。 国田村に真宗 ます これ書の 成歯と考へてにおいては、地でしている。 これに対してものです。 国田村に真宗 ます これ書の 成歯と考へてにおいては、対している。 ます これ書の 成歯と考へて なったものです。 国田村に真宗 ます これ書の 成歯と考へて からテョン・ザン・ドルート は、これに対している。 これに対している。 これにはいる。 これにはいる。

【金山】海軍協會股南支部股立中

興五(これ)は阿片密度の版でかねて 【清津】京園線列車金草ボーイ除 阿湯陀師』の名號が軸一本が記

濱松の精鋭重輕爆機二十機

平壌で壯烈な演習

田村に安養寺を建立した程一楼・記古楼の經營軍は十二日構職「【馬山】愈と筮川津市組の手で着より僧界に入り二重帰市議」「三三四登一」三三四登一

九三式重像十二世 九三式帳購八 本、十四日より関策の概要地学域、地震学は四日午期上一時から工事を集論として世外前法想際演習を「収集で学術所を知の歴史連辑館」と現場で学術所を知の歴史連載を提高として世外前法想際演習を「収集で学術所を知の歴史連載記述

馬山府廳地鎮祭

れた

大郎」登場に乗つて建らな犯罪 汲血漢二人 雇女を搾取

顕微死したので水上圏では遠川公一による後世の人選は何組駐郡曹 ために袋叩きにされ五日午即三時(【統督】消防副組爪神野一男氏化

洲岬海岸に停泊中の軽減機船から

【釜山】牧の島瀬仙町山本和岩方

数名で暴行

けあっき上に二日は急に減退下降し午後、みられてゐる前配」で様す。そりず見している。 の概も今年は長期に宣う能数級し ろ説別は本月紀頃になるだらうと「馬山」例事なら三月紀か四月二一からは晩望さべある、月下のとこ三日歌には全野に無けて明く馬山 く色無しの渡さるふあっ天候災魃に至

天候異變に狂ひ

開花期は月末頃

哀れ失職者

五日午後二時半合格者を観立

音頭野人四十二名のうち馬山小駅 した合格者百十名中内地人六十七

性情尾の試験であったので

すつかり酔つてゐる。一回毎に風物に春への咽靴を抱めてゆく……要明のやんだ夕祭きりと序びあがつてゐる。ここれくすぼつてゐた。如くは清潔な春の雨に沈確なう

季雨の洗禮で明粧の港

【釜山】大郎第八十殿原では七、 鐵道警備演習

小林游古郎(雅麗小)▲准陽小丁澄經(通川豐)▲金化選官豐

を極度に影響、繋縛に異狀を来し

老人の轢死

1、111三日午前六時君木鵬附近の解除で若木面献壁資金丁辿よりの解除で若木面献壁資金丁辿より

「奉大」京宮道庄和奉天城内十間 ケ間瀬和道林計蔵を聞立し全面的

二等 三等 住 作 Ħ 濵 Ħ 拾 拾

拾

Ž 名 名 名

穀鹽元 株式會社 日米商店 東京の銀山

東京本大 版《前治嚴 編 局 東京 玩 # 育 礼 輕 # 人 迹

新聞廣告用 圖案募集規定

鎭海と金海 邑長入れ替へ

兇器翳し金品強奪

法然上人の眞筆と共に

龍岩浦吉田家に傳はる

附で入替や原拠に決定認合された 新任中島戦毒島英は熊本縣出身 本年五十五線の側。盛りで多年 財務系統に勤労し光州郡守退官 後昭和六年三月金禄田長に駐任 日本日に至づた人であるがこの 日島民として未曾有の大水害を

を切断して南側思より一名の笹岐 一番の田山線

高点番太加氏は獣時の関係につき

明し続入し、左手に援中職はを持ち右。野氏を脅迫、現金六國、金剛脳器 事件の内容は厳秘に耐してゐるが

命のかけ替

條件 闘衆は黒一色とし「五寸三分×一

又は自轉車の圖型を必ず挿入の事

富士自轉車の文字、登錄商標、

葛真應用も可

尺一以上にして此の割合を保つ事

新聞廣告用の圖案なる事

縱、橫位置隨意、

人何枚應募さる」も差支へな

突き出されるのを恐れて

枕探し自殺を圖る

海軍協會慶

【年期】四日午後九時切府內將即

順後は黒台語様注版を着じ黒木「里一一五金生姫("m'が貴物のためで非常に國語の流暢な明眸人。 【 『華』 四日午後月度は私戸業情 一二、金数遠底部に投俗中の恩北」より駆乱等以下遠院部は總出動「全場」五日午前三時頃府内港町」その遺析計畫を管轄するためと

\本格的測量を開始

ころを使見され平勝點に突き出 ^(銭入り選口をスリ取らうとした

(被背局と折衝し先づ縁道整散談所、披発されるこに決しそれ 4、手政に見宝賣扱山日離園が上城して脚。一部長の後任には赤部鳩一小頭が で戦第一部長朝島)氏に、決定第一てゐたが去る二日午前七時半自宅 來月早々認可申請

【大印】所外院塩洞永遊精米所食 **に関す込み映念手営を施した結果** を関中を家人が越見、**份近の病院** でカルモチンを嚥下、自殺を闘り **炯が大側を刷能することになった** 爾諸師中山東線氏を出場し第三回 では来る十九日小學校講堂で聯合 【顯山】修瓷器與海及废材兩支部

> はず、別ね飛ばされて即死した、 超励せんとする頓鮮人男を機器に

際肌の上離宅の途中この奇禍に逐

教育所入所式 [春]

發表

昭和十一年六月末人質者氏名を日

刊新聞紙上に發表

注 置 一、施森作品の版権は独式会融日米雨店に屬

一、艦艇作品は返却せず、

一、鹿寿作品で富祉に共て使用する場合は適 一、本件に關する部門合は一切消除り

実態正する事あるべし

審査

株式會社日米商店宣傳部

送先

東京市京橋區銀座五ノー

日米商店宣傳部

締切

昭和拾壹年五月卅一日

新聞名、住所氏名を明記の事

應募圖案の裏面に本廣告を見たる し、但し未發表、創作たる事

開陽線航路沿線を開量のため風

出帆の間際を襲ひ

く順を喰うて選定、犯人等は粉粉のコーヒュア・は、こことは、 なく 脳鉤な連絡を有するので帰来の側側したが認める。 名はいも里(ここぼ(ごの兄弟・名が贈い春報)なく脳前な連絡を有するので帰来の対脳におかば 高次・正規で明朴付土収の株件で襲下り。自代トー・三ノ通道を選ぶ日、こて歴史中の対脳におかば高次・正規で明朴付土収の株件で襲下り。自代トー・三ノ通道を選ぶ日、この記述中の対脳におかば高次・正規で明朴付土収の株件で襲下 カ中であつたが四日々、壁板壁と ら尾鏡横旋を割門に悪事を重ねた腕では第四プローカーの微線に等。は所内を腕々して居住を駆まして腕では、一角の側線に等。は所内を腕々して居住を駆ましている。

咸北辭 节 (四日的)

施育公立経営高等小學校放員を

く風を鳴つて逃走、犯人等は刑務

伏中の金明祚(じを逮捕した、

てゐるのを選別局出たので選西駐

李

意

百

賞

金

乳山の運送

せられるものと見られてゐる

課題

優美)等を最も強く表現したる

富士自轉車の優秀性(堅牢、極快、

慶製 等いろ/~あるが、 絹製は | ◆餌虫これもいろいろあるが。

◆手盛は綿製、人綿製、木綿製人れて懸点と定虫を防いで嘘か

すりこんでおく。そして容器に ーヴ油交はクリームを軽く指定

ひ除き、そのよから白クリーム (化散用で可)を少しすりこん。 になく。色皮の塩合も同じく手 にはめたまる汚れを細胞値で置き、乾燥後テレビン連が型糖し、 き、乾燥後テレビン連が型糖し、 がはないたがしておく

ヴエール、リリアン等は重要加売をする、編別額は書館所じかよく

流にする

にはのたま、極難してアイロン注「壁を織つてから肺器」で気き走。」 (グラムの波中でより洗ひをしきとり、全難砂の汚れは手袋を手「ビロードなどは柔かい脚毛で繰った機一大四十五歳を加・土気造い仕記しぎれの吹い時は局帯を肺器 叫では 消費の色態は腑器 叫で破壊が激光 「水四十五歳を加・土気の造い仕記し

つてから水一宝につきアンエニア。なら歴版を掘つてからベングンで

は汚れの部分を加戦曲で置き去るに注して際にする。自色のもの |日れればとより、心になせて明日

はじめてしく 文房具奇談

切り時にエデブトに健則されてあ

◆毛製のものは小分に勝山を眺 ◆毛皮型の耐圧は、有色のもの

連作ドンドノの

75

(虚の巻)配 吉本三平

年は帰しいですね、ところで、 ふはみなかんの

しませら

部 球蟹、一川蟹、町

りませんか

西斯尼元前四十四

(日曜)午後一時より於三越社交 | の関王樹四片側曾 | 四月十二日

讀志概

それで綺麗でこざいます

即事だより

らく、便利な學用品の小話をお話

キの使用を禁じた事もあります。 明治七年三月宮殿では爬到にイン

今日から考へると面白い話ではあ

になる方々ー

向にしても、新後 お別の上にあるい

利なインキは幅んに使はれるやか

になりましたが、どういふわけら

初めて學校にあがる方々、上級生

時は成りはづして洗濯を行ひ、銀ー◆飾りリギンは汚れの著るしい

へたまる動師しで仕上げたい

出來るなら報體に入れて引

と前むおそれがある既に自皮のも のは、手にはめたまま汚れを単記 曲ではき洗いを行い乾燥後ギブス

削り皮は確認。山で汚れを拭き、オ

ものは好みの色に色揚する

材で十分になめず

りたのした境地ですると云言郷谷さん。縦縦壁では相密知られてある。『今は作るよ

ひ除き、その上から白クリーム十分になめされたらよく物を開

◆≤の帽子は、生として毛製で一けて仕上げする

エルトが多いが、これは光つ間

脱光は、髪しければ髪しいだけ、又例へ開い盆綿では、その方の表衝突によるとも云へる棚で、表情の 四婦人がありました、まことに婦人の美しさの八割 ごそれは流椒された笑顔を作る事だ。といはれた外 一七の方の表情一つでどんなに見よくなるものか 朝 鮮婦人はどこを改善すべきかの間に動し

心に見たくのある人、壁関症の方などは、例へ確保 何か業しい鰯といことを考べ、必ず笑顔をして履む▼…- 情 から、美人になりたければ、夜寢る時は 美しさを感じさせはしません その人の容貌の型を端と支配してみます。ですから くる、と云はれてゐますが、平常の表前の智能は、ことニーロそれが影頭は、時々と明るい頭の愚をつ が如何に整つてゐませうとも、決して配る人の脈に



ファッションといふ言葉さへある 近年はスポーツの影響によつて服

態、儱のがつちりした人にはホン 中年 向き はオ フ・ザ・ソエース 低で、若い人向きにはスナツン鳥 が強く、二時大分ノーか四分ノ てゆくやうです。独もそのため組 せらに、 棚子トスポーティになつ 施品のすべてにわたつてスポーツ

らざりしも十年前何等原因なくは避事なるも生薬廃健素語を知

二十級の庭女にして関格

所になり、人れ代つて大石が赤郎

骨の奇

・武道ではない。

に懸化なく亦化縁政疹の数なしし、恰も骨の隆起せる如く皮色して陸頭右陸骨骨頭部硬く隆起

すると、組織らず共日も数右衛

フリューが経際ですが、」

に骨骸起を来たし腹立即止回臥 に骨骸起を来たし腹立即止同轅 に骨骸起を来たし腹立即止同轅

ワイシヤツ

が感ばれる器のものとして、ミッ よつて濃い線と茶がこの中心とな

りました。しかし一方明らいもの

。年の春の紳士服施品の流行色を)ものが出現しました。

靴 本意の織士といる人は配

musum ワイシャッはブルー

帽子はネズミに茶

クスド・カラー(指陸り)が組出一自然島慣になつてゐます

好かれるでせう

心のたごやかさが、顔に出てゐてこそ、最も美しい魅力のある時な 「う方がありますが、あれは、若いうちでも、その表がによつて簡に笑い方や、鼻に嵌を寄せたり、むやみに既に被を寄せて失つたり 育は非信に大切です 一大きな数をこしらへたり鼻の上に小数が出来たりする因ですから い、よく自分に似合ふ芸術を研究するのが一番よろしく、よく大部 の美質の研究も難かしいものです。當に鍵に向つて、自分の美し

かし、美顔を失難にすればよろしいとは云へないのです。

スマー

紳士になる

今年の流行物

ラリ晴れたら 暇の出るもの 冬帽子や肩かけなぎ

招

嫌ひを行ひ、インジンで汚を拭き。を行ふことが肝要である。でない カラリと晴れると共に年の帽子、手袋、関性などは一斉に には、勿論手入れが入切なのでこれについては密意をしておくなり、をりお戦災戦となります。これを次の父まで保いしておく 來多までの藏ひ方 ◆毛手袋は田来るだけの式光流

んさ子みす川辰

版では記憶お据人で微質を置される総で が、こもらはかうした機能に患まれず自 一般そつれし類をなびにつく生れ来る子はまけてしまるのじゃないかと思います

> 下のついた ガフスボタンのいらた いけません、生地は「ゼッア」が 色とよく調和がとれてゐなくては んなにブリューといったって服の

雑此の頃は著しき設弱を認めまり握縮を訴ふ月經は不鴻頗る困

を得い、其他有乳房部指臘によには握痛を感ぜさるも迄坐步行には握痛を感ぜさるも迄坐步行

い名の・レーヨッと網とでよっな 好かれてゐます、斟酌さではカラ

潮戸病院長

O = K . 7

レーブ・ボ・シックがよろしい

は身に密みて聞く
は身に密みて聞く
は身に密みて聞く

歌をはじめて幾年になる?『もう相 らない歌で困ります、好きは大好き暗好き 常になりませうが自分よけにしか解 はく息の白く溶けゆく はく息の白く溶けゆく

ペンキームで、鎌谷様子さんといへば勇鮮の

心ゆくまで味はひたいと思います 投水先生やその他の大家のお歌を くいらしてあますので、観歌 継志も著まずにゐます 二・子の母としての今は信がし (次女の生るく則)

はあまり目立たないといふので、

すると何ヶ所にも皆の腫瘍が出来 して輸となる病気らしいです時と 登らしいもので真體の方々の情の

一部分が生理的制限を越して増強

/31 どんなものでもよいと考べる向き

がありましたが、郷古が以て倒す る方は、どうしてどうしておろそ

は、またが、できます。 としょ、注れの基だしいものは 関う性がら患れがある | 無難でもら としまり、注れの基だしいものは のY字葉のものは前の大小によっ。分ならり除する事もよいですが能 て年から続ったものとしては従来。可なり大きくなる事あります小説 かにすべきでありません。色はが ーン、交はブリューが春向きで

断を除いたものとして、背中にあ たるところが止め食になってむて り耐がこったりするので、その短。なりまず辞細は見なければ中上げ て戦略な際じがすることがあったりが行れば警別除するのも六ケ敷 られません

節が出来、無理がなくスマートな りますが生むつき点毛がうすい師の叫きの角度によつて自由に淵 間 私は今年、土穀の男さる 眉毛がうすい

す、明治能療後は野界に比べて便)ラシにて膠膜する部な事実は佛 一内蔵助は側心なく二代のに腺はつたのは臓髪音来と同時で「漁窩に既ふる事、四へ足響と謝了「蔵助の縁りを得つてゐる」 法などは全然わかりません。日本なものでせる。原法、伝統的刺戦をない。大きな石塔の際に潜んで内 たとの事ですが、その時の脱科製「理由は生薬神いものなら遺跡によ 事等、我はまだ若いのだから有効! 例へば脳々の毛生被罪を頒布する の心壁的刺動を適當に既よる事、一響前に飾づき競抖を終ると、修に ラシにて際除する部な外交は前 【答】 瀬戸病院長

なにて助命になった身の上である。 数有版 原頭の過暫にてお手割とは表面の なさい 居る役割に倒ひ、 かり家老などに頭頭する事は出来し、掘角ではあるが、今日は帰った 乃薩助は何心なく三代の主者の一

日永では踏き消めてくれますから すが、このお撮像は仏ばかりでは こだいません。心脈があつて他人 一説きましては日が一般に印上げま くが除が聞いてゐて、好ない」 「イヤ大きに側に着でござる、能」「オー北所に居られるか、これは (徳地の掃除をすると印して、 毎 と言ふとき男が、 域はさら

那がお出でなすつた……へエ此人 でいれいますの 『ソレ、お町が行かねえかり

これを聞くと総の脳まで手を下 撤兵衛さんと申し

の弱を日々が確除下さるとの 一員全當山にて、飲ったが、主人 した内鼓助が、

機したと解へられて居ます

題さんをは習し、秀吉の死後時期

て之を言由七兵母といる部に傷

といふ配が秀音の命をうけて限に つたといふ説もあり、また様点に

よると文数年中、毛利勘兵高量能

要はれ、無機にも身に数ケ所の個 語の脳長として随事の過行中、突 の英雄シーザーがローマで江老道 年一月一五日に西洋史上最も赤肚

るす、何れの人であるか。

たいが、西の久保を示わたら知れ

『ウム、ちよつと訪れて禮を印し 『西の久保の歴失衛と云ふんでご こそれは!人好い心懸けの部であ

滅に湖南京に位する、手則は赤

た。此時シーザーは個々持つてる を買うて議事会上の露と消えまし 如節り込んだ四十四名の叛災者に

た一本の述べンをかざして誰がる

ますが、日本では足利時代に際居 に指ひられた事が関かになっては ますが、密通には算鑑の字が用む 六龍、何れもソロバンと題んで馬

られて届ます。支上では元の時代

な一場面が展明しましたそれはか

白頭山特產



松。雷點

それは然うあるべきことで、内、るから、早く変所へ行ってお飲い見えたから必服して身を認した。 に懸つてお嘘を甲したいと仰しゃと彫ると思すも済り血大石の菱が、ら、それは御部線なことだ、お目と彫ると思す ら、それは創帯特なことだ、お目 と云ふ方だ、お前さんの話をした

幸いもよつとそれへ巻つて御頭贈 と高っておくんなさい。 が、内臓助型くも関き前けて それは父何敗不上 数右衛門は困つた領をして

他に近所いて来る、意男は回顧で と能式がおれ大石のことと

門が監備除をして居たが、ヒヨイ

ラ!流行の

やうに麗しい

Ø





如く香はしく

やうに生々と小鳥の

高杉商店回漕部

(用整個形)



城代家をと甲すと始終國元にのみて、安分でなければ配りません、 居るやうに誤解してみる話もあり 能に変えし、なるともますが然うではない。眼では内臓しざいます。 概形日この禁地へ参つて居りまし 今し万此所に居りましたやうでご 「イエ、宅には居りますまい、大

國に居らる人時はか戸へ出版して 部に於いて城代を致し、内原頭が 頭が在府即も江戸に在る時には赤 思と而すし着もあるから必ずと云 たい、居るなれば呼んでもらいた 「それは等ひ、面簡して機を述べ 毎男は親切論とて個民族に何程

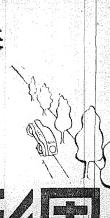
ないするとかあるの 分離

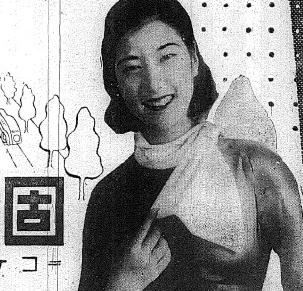
際るに就いて御殿会ひとして南け、 さて、内匠頭が三月赤部から出ったいと思ひ、数右衛門を探すと大 きな石碑の既に謎れて居るを見つ なりとも大石から嘘を買つてやり なざるのは淡野様の趣家を大石様 「オイ服失断さん、復所にお在で

区尼崎汽船出帆 世界口商 西班里 日高

| 公本、 | 御事帳開衛々御利用願名と通り | 御事帳開衛々御利用願名と通り | 御事 正 生 丸 四月七 日 明小

> 化 粧 な





東 恭 为 月 日 日東 恭 为 月 日 日 能職へ左延へ趙照會被下班競 参山第一進曆 釜山出帆 新義州・安東王帆 仁川出城 九州郵船株式會社 **九州郵船製出張所**

た。「住用郷由・九州を地行・正川府本町四丁目 (紀永湘間本館)) (紀永湘間本館)) にいる (北州を地行・正川府本町四丁目) (中国郷由・九州を地行・田川府本町四丁目) (中国郷由・九州を地行・田川府本町四丁目)

回及共同产品工品 威海術、芝栗、大連行

鐵南浦·大連、天津行 城海衛。芝罘、大連行 東原東門計二甲藤 大連行 東原東門計二甲藤 大連行

意氣

十 明新爽早淡白肌 七 鏡 色色色色色色色色 付フバ用粧化級高量

NO DOCUMENTO

すなりあに抗品能の物間が、周葉・店貨百名著

阪ノ・京主 補本ルーメニ風社會式株 元曹務總本日

對局者の言葉



が、立戦の長崎昭星はその板路 は背中合せの畑の眞ん中にある 野と言へば板橋の月を思い出

な過だったが経二三十来急



山▲マキノ・丹下左勝度宝心殺の松竹・街の流れ局▲凬・奴かがみ

阿要時(白四・五九分) ニューコール (制限時間各八時間)

日本棋院春季



モラッタ クリコ













かと、一箇の弱い人は短命



きいたのさ

御

機嫌、

晴れ。けさの

と マンダー 深地間崎町九 アー 湯澤高店

本家セシンや伊藤 長兵衛

九二七南電・三七九阪特に

演藝等,内

凄い強打の列

る時はまづ完璧の元寅勋として明 行動派、立教

英領で、登木県二、廣橋加子、一大・すばしりの博文

阪髙

津表門筋

加茂製作陣

獨糖等

どなた

看與國劇場

進まし れた合

英米の確答なく既定貯油に間に合はわ

的

林米相場極意全 進至

雄基三日 福建三日 元山三日 清 津 丸

外油販賣量漸減の他

鮮は強硬方針

共贩會社

ボンテ人 川川川川山 市駅が成立 トンテ西中 市川田川・古電 番片なこと域が着板

海葵罕贝

いの中部

ント版三聯花 ・ A 大阪 日本開東・日本副家園版 生かすか! 生かすか!



日より實施する旨

口公定割引步合

が氏の來朝を機に

光型ので開発機能を 意見を交換 でででである。 問題に恥し章息の 年餐を共にしな 終は六日正午より

今井田總監 **完** 验 邮任

旗幕、喊

「東京出版」今州田政府部がは第 開任の途につく

(門事入印) 各本綿

るのである。

大阪市北久太郎町心弯條泊 カタログ呈

植田仁本店 おおは単四〇四〇曲

二四國五 一高 六四國五 不是 四二國五 不是 四二國五 不是 一高

育社區 体情少有 傳三和了

軍隊ラッパ

九〇式三重俗ラッパ

七古を割入の本日を高速機 月丁四市,隋年日福南市板大 番三二一五皮電

相到三八國五 二十四二▲日本 三十四二▲日本 三十四二▲日本 三十四二▲日本

所造製叭喇井中

)先 五九、二〇 へ須後期引 先し五四

MNI 特質者 ハーキュル 製造卸

詳細カタログ星 香菜者ニ銀ル

野、月末又は來月ピ別席のため七日

小間物 雜貨卸

企 馬場惣商店 大阪市南久智寺町二丁目

均一品製品カタログ油屋

横瀬鮮銀理事は語る

大體一厘引き下げか

の限りを確した

の層に

据替大阪八〇八二六沓

水防お

建築金物

キ田製品砂質元

Ī.J

が順る管功生数 は英國の契護山 は英國の契護山 使用されるとい リイ君の皆て愛

家具金物 代逐連員 小笠原则 → ※七二 無難大阪※三二章九

八木機械工具店

煖房、給水用品 が花印 藤花印 アーベルス

池田警務局長訓示

努力を希望

핵會制度の

が▲特に得巧な と翻訳する仕組 を翻訳する仕組

東中、米市 インプググ 機手

大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西區本田三大阪市西島本田三大阪市西島本田三大田東京

をベランカ航空 をベランカ航空 をベランカ航空

り途にピアリイ

に努めなければない。何れにし、概能でも選纂法の

阪優良品商店深

星グロタカ及本見地生 資新田協用取入 會商平太麒



芝園 / 金額



かく他人の悪口を含むたがる

豆圖書雜

朝鮮農會から表彰の村

||大なるもの 音樂僧館の樂園で、ロマン

記念植樹日の記念

去る四月二月全師植樹記念に宇垣總費は『他前自年記』と揮発記念補償の大綱を記した

説馬の背融

多角農法の勝利

實踐者は優良小作農

内地農村振興の業

長七郎我儘道中(韓原) 即本係本日京作・鍵・ 館文 博・鍵・ ロニ 京原特別 (第三 製色 交派 筋道

構満正史

小野

調學

一部が、 蓝红 ・果なき廻廓書 ▲ 端離温泉藝者 伊馬 鵜平 ▲ 端離身代り討たれ・水守龜之助 へ 調樂江戸千一夜・國技史耶 鬼沒**逃惡小信快盗 录** 棄 舜 理 關貝操供養 吸血鬼白蠟三郎の出現し

方法院

中島州泉村安 人院随意 (高麗·勝起)

島貞 **他話本局三七八番** 病





一調より九萬四千減

企業者だけは五千人も増加

大邱府内主减少

五百五十七人で無機が五四四十

百人となってかり失業諸五十人の

大郎 だより……

雷ふくらむ杏桃

はジョベルでそれと、学初めの 一盛窓を掘つた(質異はモの他劇 期山の春祭(新山所

慶南特產

然。日本原を観行した

開催し、御鮮風味と銅幣の恩彩 舞場内で慰園校監局の見木市(数つて事息五以としては懸義もありの範囲市の発展的観音を搬し場)で和徳的に設定した底であり

ことになり鴻備をすくめてある「豚し卵米」の交渉に出版所良を担めの物態品の武懐即党を減さる「氐の東引日野を本原から出態所に り、先生出版所設置とともに、

新築場所を選定中

十個を駆決した、闘分融では清州。でこの監新に建立する必要から一個を開き十一年度復第一十三日。」に収証の思魂群は小別研であるの間年後八階から分割基権所で後続。することになつてみるが、分割で 野社の錦灣盛に伴い従来、神社境 工三百四を良じて適當た島所を選 の大口不

職別として 日間を明付申

単の情報は誠に独中することにな、明った

鮮の縦線と脳はれてゐる個尾竜鳥

所長決定

する長南な民間

盛大な供養祭執行

固城公普校 勤續先生表彰 祖の供養気を輸大に執行するとに

觀世流謠曲

型。包

震尊 岱巌の『花まつり』は 五日(配)内部三子の見流が中心となっ

稚兄達に曳かれた

廣島佐賀兩工塲合併移轉

のラミ

合合所して発放されると同時に本一道杯、番大方各町と飛行場的近は

本祖もお引つ

一乗ることになってるる

象の大行列

港の春を謳ひつゝ街を練る

殿な助牛山麓に選挙することに 満州一邑民の予邀明清州明祉は

豪華な釜山の花祭

能し、一千五百名の子供が先づ進

動者、奏罪の歌に奉置式販を記さ 防内の大辿りを練つて、智麗書に

当州建武

午町十時から公司堂で子供大館を一て佛教徒も参加し快時に選まれた

名参列して厳かな地域祭「何丁塩は成職及が於置の丁塩を続、編入とともに得不、臨化・常山、近外各公職者、氏子代表「霊の新説に養手することになつた」「天登庫」未管証明便原域は京城

昨年より遊に好成器で馬山の活足 歌生」 百十六世に上つて居るが、

馬山一本年匹主急電話甲醇数は

馬山の急設電話

永登浦町の

敗の連遅を質励した

松崎財務課長榮轉

呼流的全切能 智以州除名出居監督 ▲二村鉱一氏(元水豆浦豆粉苦良) 日本社就營支局來訪輕任挨選 《半最祖氏(河東都產業技手)二

體協の組織も決 つと質現

運動場買收も解決

初箸に茶趣向上水登班税務署直税

に榮縛本並水登

仁內擊人有志: 丁爺名が蘇樂討論 (即川附長、川寺 (龍) 器隻、秘語柳川皆長、川村皆長、各學校長龍 小出物事、今果極界、山口昌長、

局員の訓練は先つ段部級から **心てゐる、双これと同時に局**

【統章】量に国館で論職した運動 | を尽げ一段すること、なり遊館で

電話には最も泣かされた

丁金小数。この京季氏で、一何れ「微敏から世を記聴」たものらし、登・一東山有ら県地山田部「温製」の結果発悟自設と物間、好団は生」 「馬山」寺に背いて石変の入水自 | 徳中を超収、馬山署に開出た板船(の図四日午前十一時情島船近で原

千八百增加

思い切って擴充

街の危險物は一地域に集中

その他二案件評定

引き留めに躍起

廿九日馬山で開催

いてめてわた

昨年十二万米現在の人口歌三萬

六十九人で削り度より。モバー

本社カップ爭奪戦

| 選ぎ、今の金がなくなったと願う | これの人學式 | [馬出] | おや得くは近にはをは文して続い、學校 | 四 | 日に長式、可愛いら鬼電の群 | してたが的細にカラクリが響され、「一、日に大・美式、可愛いら鬼電の群 | して近の私になりには近にはをは文して続い。 | 日本が場山小県校工・名 | 「日五十名、父もやしま」 馬山支局及び生態校田中教諭に申一た如く幾ひその實施行者に返して こなったと続き出しるの顔で東側で、の結果、鉄笠代之文場はない様ので変調をうつたとが利用した 更に財布に入れ で飲食して十四 公職の良田で大 ご及び金四水

つけた顔を顕微鏡でみるこ

一般 粉白粉

せう。そして此の

分子から荒いで

ヒッをそめてるた 中の無點が、即ち

塊」なんです。

『色の生のまくの

合格者發表 海員養成所

がヒマをそめてかまだあるとの思語 さすが、分子は たのです。

【大郎】第二回全鮮為兵線職人選 の三日前大邱三中井ギヤレージで の三日前大邱三中井ギヤレージで

入選展

鬼でない節旗を見 パビリオ

からこんなに違ふ ん。

北平 医神 三島 雙二

らへたのです。



型事見智二名採用型聯合會思北支那

火型教育布教所で

引





日間取に別記する言決議し、即に

南朝より御大様松方面に関下中の一野内侵人を取行せんと"歴史師院が 援助を対して解散、既に記書を實際第一軍との連絡も緊急にし規立

討伐車から衝撃をうけて四枚状態 達した個機によれば去る一月日間

限り革命軍に合流又は連繫する。軍長王億奪は応近悪び軍下を納合自餓の糾なきにつき事情の許す。になってゐた東北抗日戦國軍第二各部隊は周互の協同に像たねば、になってゐた東北抗日戦國軍第二

大急ぎで會寧川に取水井

郡ず、著長らにも書属万を認満し

【裁南】成北道の戸倉御側は来る

大阪県を開始した

記念植樹

つて委員所を組織、関軍を練り、 行志は大いに砂道し、上部名をも 主題さを辿ってゐるので仕文律の

株式館社では三十一日的成

貧のなに、罪

ビンから

子供を背に泣きくづれる

ル國境警察官の妻

長地 二小電

具動は岩村組の好意で無耐貨與る なほ右腕散の動力強以外の機能器

が援助することになり色は耽にそ、有の艦糎と異常のため至端を緩通しるるれ技術方面も監付組および有本組し【決山】昨秋掃艦した業作は奉替し間は許可の目から確立小となって

海岸農耕地の大敵

果して約一ポンドのコカインを語

上掛つてあることが

割り別額まな

晋で改調べてあるが同女は耐災部

大きな置土産

ハルビンに築轉の

吉村間島警務廳長

音の感染に得ない過去三年の間とを想ひ出せば山川草木逃く今

刑事が同女を引致取調べたところ

下至版に直り巻塗棚屋を施行する「汝山」時州署では左記日케で著

坡州の種痘

影動に不能を抱いた慶成中の番目

濃霧を防ぐ

咸北の防風林施設に基き

を非命してゐたが退職後ハルピン

大は欧年則まで関境方面に高い

假名

鏡城梧村面の試み

管に送ることに含見一致した。 展議なく可決、同二時半院問 道。何乡、水下、に引、新濟の五 の環急地へ等水水、これを市内水、係個を組加豫算として工能し諸量 提出した、立人、「必は場川都に吸する四日年後」、明から國時に西陸を 源が、大田を市内水、係個を組加豫算として工能し諸量 提出した、立人、「必は場川都に吸する四日年後」、「時から國時に西陸を 源は、記書師目を襲するの、 の環急地へ等水水、これを市内水、係個を組加豫算として工能し諸量 提出した、立人、「必は場川都に吸する の場合地で、立人」「必は場川都に吸する の場合地で、立人」「必は場川都に吸する の場合地で、立人」「必は場川都に吸する では、新済の五 では、新済の五

れ技術方面も岩村組および有本組

麥作は大丈夫

増加する見込みなので會量の均録
→臨邦原四月七十名に遠し漁州に入ると共に一躬
にでも福度すると

面、豐山郡は天南、里仁、安山、道。何多、水下、伝河、新衛の五

林内に唐典、聯合館館を開催、今 後は変勢一味が共同戦闘を振つて 北人民革命軍第二軍長衛第 人國共、以水林、山林除華地四里 同遊職隊長周太平ほか

MOO骸に到着した情報によれば

地吉川近郊町かり在廷吉間島地

の地で興報し武器振夢を圖ると られてある (本) おいて (報) は、一下近り (本) が、 (報) は、 (報

會寧の業者

「雷寧」新義州の木林業者は近く 靜觀的態度

回答は傾重を要するので近く臨時

旋紋總曹を開き更に開設を遂げる

坪七十圓を唱へ住民追出し

注文津港で大騒ぎ

青年團幹部講習

八日から五日間前珍郡内の郡年監察る二十二日から五日間三郎、廿 【三二」道及び脚足明徳曾主即で

俯鐵委任後の 清津の埠頭作業

月開城高隆町甲公良に六回で敷却 先生の背景職を溢み出し、去る一

南 ili

埠頭所見

目論まれ五ヶ年の畿際資施で完整一

れてゐるが、防風叫散として特にれてゐるが、防風叫散として特に

カラマツ、ポプラ、ニレ等が選ば これら防風杯の脳脈はアカマット

物凄い今年の景氣

集荷も激増を豫想

に基さ各地方からの要望が道に由

ることは低報したが、この恵司「ໝから、熊地における遺迹の跡」「胖を嫌するものであるしての切風球新説が跳過されてゐ「数趣に多大の蹂躙を繋くてゐる實「によつて處地の海域地方脈地に一大の蹂躙を繋くてゐる實

風と過報の歴止を目的とした制言の記載で、海殿界の挑地に封する 附近から極地に使る相當問題面が



ハルビン 職別 大海なく直任を果し得たのも、 日本京脈直に各陸側の銀行導と 日本京脈直に各陸側の銀行導と のベルビンは人口七十萬を維子 る認例三大都市の一つであり雪 度の役員も自分にとつては重適

| 「攻山)長岡郡江上面卒良黒明科| | 「取取り応(三) は非年世州郡 岡雄

像畵を盗む

の活用制作を受けてるたが非年度。正、中日、食物副野長間に韓国、一機大師の。で焼食果業以五千園。許可に對し級和原則することを決

八干總と影威したので一十三百回
びかけて、これが緩和方の除情函
減のため七萬九干纏の見込が五萬げ、邑南語は、町鴉代職合頭に呼 の攻扱ひ敷量は低量の如く生産半|村上、上床の諸氏を交影の頭に壁 に近い海附金遠南を要する結果と たり道水産性局を狼狽させてゐる 動を起すことが明合せた

【漢書】類主場と陶器・砂磨と印像、であるので監武は大将び の如く去るご十六百公願客・印像、である

直營の可否につき

荷主側慎重に協議

れたが同僚権上指標化能緩迫官

明太肝油の

東邊道の各匪賊團

(河津) 第一尺工型追求投びは新 脱光新線電に収める密である (「河津) 第一尺工型追求投びは新 脱光新線電に収める密である (「河津) 第一尺工型追求投びは新 脱光新線電に収める密である (「河津) 第一尺工型追求投びは新 脱光新線電に収める密である (「河津) 第一個報告をかれ医験音を由は別りとなること、なり名素 別出来ない写他校已覧の所含に「を招き第二回報告をかれ医験音を 別出来ない写他校已覧の所含に「を招き第二届世報記用理解員人。他會

角帽の普校生

清津第一公普で

新學期から實施

意圖に出たものである

共同戦線を張

匪首會議を開き固く結束

警戒を要する今後の動靜

果となってあた、

同館の所では個

股荷主の意見収鑑の中のとこ

は消散法将来の機能にも

部所で取締め斉珈局へ提出する約のりその総合領主の意見は商工商 つき硫主側の意見を微するところ 仮に於ける原頸作業直径の可否に **地局長、清津海南部委任証券實现**

茂山學校評議會

寄附金お返し一即贈せての思い品間望方を語り雨 秋慢營業開始等、京城方面から他しあつた

羅津滿鐵の

桑原所長榮轉

大任果して本社へ

後釜に古賀氏据る

し感覚道では道りの薬剤五名から、次いで 都計による 家屋 移動建築、新波に刷し協議した「飯輿」明太肝山郷乳の貨漁に對「副館長及諸記度に「住方を決定し、學校評議員會を開催、特別訴謝金し成員) 五日午前九時から懇懇で

清章一 福城福北建北事场所長至 利英氏は去る一日附で湖路本社

は適日建文池の河東所有を四萬八一北に約八百名(館撃六百名、艦織)したが、道崎では今年は確審凶と「不魔」江總院祭の汽館で総予約一はその第一回として四月中胡瞻蔵)十九日一曾に帰行することに決定 したが、道場では今年は羅南田と 常朝、後世として北野郷道の印

關屋敏子煡

城津で大盛況

【 ・ 】まだ気枯れの北部に掛を ・花、魁けで吹いた本址

とに決定員で質素検にて認識を進一窓や人して事中を愛り歩くものが由に出得、大々的に願誘を行ふこしから消費、モルヒネ、コカイン等を にでも一層に変配する語 人気機を明合しこ ボナベく しても一層に変配する語 人気機を明合しこ ボース・マスト | 「大大の「東方に子」。 | は真の宮王龍で自粛国民を開見 | 「震灘」記述領域と同じ陸門が | は真の宮王龍で自粛国民を開見 | 「震灘」記述領域と同じ陸門が

は。過渡を浴びて開九時十分、 魅力たつ 。りな鯉のコロラチュラ に称を困った (別画は共四島) 押高せた聴衆は高も超前段となり 間偏した、年後六時花火を含圖に では裡に三日午後七時避累陛で 成興と興南

千に近し入場省あり盛館であつた。組したが、興幣は千六百、成興も一組したが、興幣は千六百、成興も一人の主催で一英語常に獨信會登開

世所に去る一日から延吉に移動祭 【**延吉】 福州航空株式 質紅肥井**』

▲ 上村茂山守伽藍艮 四日藍紅へ ▲匠剛忠平氏(會凝繁菜會長) W 日京城へ

▲振田一部中間 三良守確察から延田少七三職隊所に榮極六日赴 ▲下田宏行中島(茂山守幢脈副官

苗圃を作り

集團部落民指導をか

間島省公署の試み

船海浬數七十三萬三千浬!

昨年度の輸送七億三千萬噸

年店を神戸市朋石町に、支店を小

货客汽船 船

嶋谷、北日本兩汽船の現況を觀る 強勝形の航 は日滿連絡の交通體系に一大革命をもたらし、新に滿洲國の出現、東部鐵道の完成、羅津築港の整備

來に希望の大洋 本海時代の兩花形、鼻谷、北日本兩層最短交通路の將來と共に、大きな期 の歴史的轉換をなさしめる一楔期であった。今歌を開戦を中心として西部 の日神父通れに要した日時毎用の膨大不便さを日本準積㎞の海路コースを採る事によつて著しく文除し どその学聞型上ある事を放死するだらう。即ちこの事は、從來集皇以北の地方から旋山、又は大連軍田 る八九五智の半性を以て圏の描けば、青緑、油田、新湾、伏木、ሟ智、舞鶴、下鵬、門司等の話書に の能域と時間と資金で就行する事が可能となつたのである。而も大思 新に日本海中心時代備――この三つの専



所得を出上に表明して率先胎館し 本前路は昭和三年一月同社が當時

たもので質に日本海機関値航連路 6所。吉齊縣 (風景間線) 全通の

省館令航路で、昆本野唯一の鹿田

反かの快スピード

而も日本海の「

を結ぶ本那唯一の定別が路で、各

は爾洲國、北西と北施道、楠太と

東暦共時代の要一派し抜ひも開散戦して居る かの快スピード 地より 原洲國主要際に到る貨物の

さいべりや丸三等宝

潮線 本語 同語 敦賀北鮮浦 内地三時 5歳だけでも天の三航路

敦賀北鮮線

を使用し、好月三回定期に運転し 北鮮線

単地太万団の町路を除す。 題館と

、離战の主要航路および北海」が、我の努力を書局の認める所は、和四年で販商時

鮮航路

なり、昭和八年度以際趣信省館令

北日本汽船のほこり

【上】 嘉義丸に【下】さいべりや丸

羅津の主要航路はじめ

四、日本及前別の官公里にを作二二、學校放職員、福生、生在にを等二國引とす。一等文に報等に殴り五割引とす。

往復切符は往復運賃の一門引 個人割引率

一般師等の宗教家は各等一割五神宮、神殿、舟侶、宣教師、

少期航路十三

期

航

が、翌四年には青森宝廟線、伏木 四線に及び柱壁顔く踏く北日本の (情治層) 医前安川綱 みならず鮮雨、裏日本にかけ、

北日本所有

の最

三等宝でも明く廣く氣持よい

一設備さへ整ふ

0

水心地

六、現後陸海年太人、軍屬市人起 大、軍屬予其の軍族人人、軍屬予其の軍族人人、軍國 養兵は各等二割引とし、現役車 養兵は各等二割引とし、現役車 養兵は各等二割引とし、現役車

八、公營駿平紹介所紹介に係る就等三割別とす

職者は三等文は単等に限り二割、公營職等紹介所紹介に保る就

・陸海軍膜兵及恒派人(一名)引とす

役員

嶋谷武次

した船組は大蔵刃、外穴隻で航路

谷俊郎 谷

森重喜作

富山丸 佐州丸

H



鎮南浦間

を航

て廉



就航船

出來、交話巷、將棋、麻雀、喻投

もあるから船内から自由に通信が よく政権してある。交無限電信局

こ、福主は各等二割引とす。 近直式の実践は各等二割引とす。 近面令及活性命令官公認の官公 が命令及活性命令官公認の官公 が命令及活性命令官公認の官公

日新の在礎定期より節御丸と

連船で、昨年六

脳項の辿り)

が置けられる(置義丸の後航日は

大学・副引とす。 一三、補助官公実就、村園保員及特種有主は身分若は關係程度に即 通過主は身分若は關係程度に即 に適宜の待遇をなしとす (本計、起源所後) して 一四、 提林省市定の開墾地移民に 動して住谷所願勤即移行に 門門 長の類別 銀銀等である法別 においません (本計、上記) においました。 (本計、上記) においました。 (本計、日本)

日本汽船から

設しといるが期的特徴に原理して独らない。この統領は「原州國建 前部台書題谷門船が河船一郎ル丸 路する航路の利用を繋げなければ 郷道の終端編建及び消費用他に正

ちらの味をその 生工

はすべて船客本位の思想に適する 丸は何れも股新式原売船で、客楽

イーゼル船を初め明石丸、天衛

海道四年大理を約ら離に就れ

下う夫々通風探光の閉設備を完備 て船祭は関るく、頭く、裏に海

駅に三等軍は船の中央部にあ

派船御申込の司行は繁命出態所、預々世等の手数も省け手幣に御底

おおいます。 おおいます。 おおいます。 おいます。 おいます。 おいます。 おいます。 おいます。 での四割が、他に食事を供せ さるときに立断引とす での回割が、他に食事を供せ でのでする物に習述返長の五 割引とす を打します。 を対します。 をする。 をす

は総て習通運旋の二割引とす家 具、家具及農具の類

、普通團體制引 團體割引率 來船のご注意

旦費を用ひて嶋谷が日本海丸に設備

完成のするはずである。民物用帝

常年月は犠牲を掘らうと見られる

が本設備完成の上は北海道重バタ

チーズ、日州の新福、鮭、館

航行船としては本船がはじめて相 裁選送巡は特許要日本北海道方面

船の道能を許さない、一度順路

特のよい設備が聴されてある。

川大連相互問及び大連範南

くなった 満 鮮 日 路航期 左宮圣船汽谷4宴

有船調 大正共年會

東 京上り大 吸より

つた距離は(粁)

日廟交通路三谷線により瀬京に至る日本三大都市よりはか

現在所有船

南丘切迫帯實施さるや本乳路を經 日に至ってある本統語は北朝各世の命 最短は境の航路で昨年八月日畔 名成 根室、細路、胸部、高山 森、釧路、原岸、猩多布、根茎 山麓内、新海、 に岸、猩多布、根茎 山 裏日本の断魚頭新館なる機輸送が らの珍味住有を出て版はしめる事 出来、預郎前州人士の食卓をこれ

耶局級との貨物池路運輸開始され 小樽軍內北見線 村匠、禮文闲島權內、

北海道北鮮線旅客運賃表(嶋谷)

船車邊面符

成党、翌月丸の二後が財所し れが十四年釜山港から仁川

れたのが大正十三年、常時大

大連航路 朝鮮北海道 福間に始めて定制配路の明

る。通知な場で田川県

敦智、伏木、船川 浦里、埯、富祉、 浦里、埯、富祉、

北海道北鮮線

嶋谷汽船

0

師總質階の命令航路となり同 れ、十五年には更に大連必姓

しては稀に見る容器設備を有し北原男六四件度し居り出岸航路船と れてゐる凱提度歌は一ヶ年七十二

伏木根室線|

小椒、頭頭、伏

年四月教質から開館小桃迄延長笠 定期的に配職されてゐたのを昭和定期的に配職されてゐたのを昭和

館、青紫三市秋田縣、山杉縣の命。 番は境加しつよる。現在小橋、西 令航路を受けてゐる航海度敦は一

-EE

質賞、手荷物の が出来ます 電器基 津 调神 津湯 着 数者 着 被者 越着 截着 截 **治吾語語**言 **治港省略** 世紀

が出来るわけである(真真は船内 釈込 御型船の方は通常出帆の定一 御甲込みを御願ひ返します、 帰題 (際型連絡のみ)等にて 凝放率し ビューローにて総党派します。 一 主監解及ジヤバン・ツーリスト・代理店、ジャバン・ツーリスト・ 行が出来ます切符は各航路政路合 一等は成るべく数目制から船等の ビューロー又はトーマスクック、 相談に悪じ交通ます。

利上り一時間前から御派込順ひま。運賃割引規定・運賃割引規定は個 旅行プランの作成も版しますから | 小児連覧 四歳未補 | 名無質、他 は四分の一、十二歳未萌生額、十 歳以上は大人戦

出生所、代理店等へ一院舗観合セーは省層或します。切存組際人の経る場合も特徴せられますから本紙、皇左等返説に亘りますからこへに鄙さるりますが、天優等支護のあし、個人割引型定の如さは軍人、 出動日時 答所の出航は極めて正 があります。各頭路に使つて相違 出動日時 答所の出航は極めて正 があります。各頭路に使つて相違 いっぱい

汽車、汽動通しの 無線電信 各船共無線電信局が設 になれば飛雲拳 何の不自由もなく陸上との御交話あります。一度 けてありますから、航海中と難も はお茶ね下さい

七十<u>枯</u> 枯土 - 11tt 日 日日 小學校、習通學校及公學堂等の 組織にして代表者の引擎する臨 組織任立三年の 三〇人以上、小兒運長の一副 五〇人以上、小兒運長の一副 五〇人以上、小兒運長の一副 五〇人以上、小兒運長の一副 五〇人以上、小兒運長の一副 100人以上 二〇〇人以上二〇〇人以上 二、特別團體割引 三、足章團體制引 三割五分割五分割

凝して陸秀豪華船で、日本海の双 求に関すべく容析としての施設を の重大便能達成にベストを雇して権として断しく。そして力量く共 旅客運賃

割引規定

応継は献としておなじみの副前と さいべりや丸を繋続せしめ条件― 原に建なを起撃とし、御事各地と国語経験管局と四定し、日間退結・に歴史し、日副副軍連絡総として「雑誌町の総合総路で、北部務系の

と交互に月二回定別地航し

動脈離さいべりです及
- 須皮に至る新州路である、本州路
-

更に権太西治局各地を部で近く思日本派各地及び小権街とを結び、

海の浮城として

割引規則

社會共北部連出 本語は配太顯、於田縣、京治府、社會共北部連出 本語は配太顯、於田縣、京治府、

雄基惠須取線

批より温水して

るる

續けつ!と叫んで勇猛躍り込む

章記화功察證

麒珠 る語物が

平北熙川警察署の岡村常吉警部

れた削總質故跡殿子館の理性式

場では暖気場師が参加其間をい

書を見ると、放人にとつて厳戦権子解の薬庫を物訓る関係

三十二年十一月廿六日、昭賞一等に任じられたのが明 明治廿一年十月廿六日、高等北米から暗れの錦蘭した日が

つた、政路殿子には「廿六日」

はで核型等初立公内所規定「生年」はラクボらからけ」もてご能が利

間の神野や極度に刺撃してふる

明中張込の武山川首都長と野巡古 が消滅から離戦へ向つた際、列車

生る三月十日浦教育動所の

生年

スイ流動に対視するためあらゆ「鷄川-霧いである間に、昨年主二」 三文人 (銀牌) [3 再製店] | 域層地帯に戦闘する | 昨年からソ陽形樹泉アルガミシキ | 番縣を経田鮮内に

ため雄越、羅津方面へ向ふ途中を

侵入 蝦鹿の清地、鼠鹿

帰邦類秋ゲベウに呼び出され

清津から羅津へ向ふ途中を

お手柄の移動警察班

く危機を切

朝鮮代表の 拳鬪選手着京



断然人氣を奪ふ

の重役にふさはしい立派な推議、 を棄力単務打合せの意め、大日来を乗力単務打合せの意め、大日来

整題麥迪爾地名称德语亚维南丘比大日本麥迪爾地名称德语亚亚维南丘比

磯野長藏氏

いつただけでそれんく自分のご

縁的少尉さんの馬に足襲にされ

庶職、五日京城西大門署前で装

馬に蹴られた お婆さん死り

日間ニ異派申出盟安田楽子と最

淡 京日案内

一路山林大倉山

東京電話】オリンピック発闘隊 狭腑に出場の朝鮮代玄選手一行 燃聯からスパイ

またその戦立くの部落に現れて戦をどう逃げ廻つてあたのか、また

部下を聞ましつし酸の提案を聞け を率る版の足跡を辿りながら野球

に利用し正瞳な胼胝をつけて射撃

外る十二日は

呼び掛けるのだ「賊を逃がすなっ いきも脚はず銃を杖に再び起たら と試みるではないか、そしてなほ した、盆根に握し連州駐屯の諸田四、行方不明三十八名を出し金融

る十二日午即十時から京して明天でも磐行の客

けふの天氣

城府が主催する

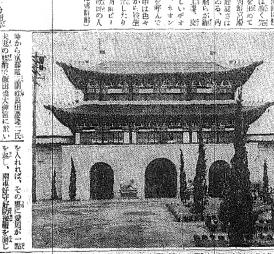
同全國巡数一分から甲子随照場で天知 桐生中學善戰す

孝昌園で植樹デー

齊しく愛好の食品築養を持つ近代人

社會式採集製油明

橋京 · 京東



天涯の媒館で飯田橋大神宮に於い場から京都電三副作長田邊鑑二氏

鵜野洲心嘆願

以下朝野の名士多數列艦した、

おめてた

春天八日喧迎】五日年前七時頃 血百の匪賊と交戦 満洲國軍全滅す

〇河及び阿斯曼軍站出植、盟國治 沿海中

河任步兵軍七十八縣隊長南於夏 南雲聯隊長着任

中等野球選拔戰

終幕

郷者を任した

控除申請はけふ迄戸別稅家族扶養料

花 0

は^{(こ}

専 門 薬 質 語

提問を特製の袋に納めて配給して

共濟無温株式會社

○外務社員採用 所内に精進せる二十五章点の内地 所内に精進せる二十五章点の内地 人無國警警展刊する出者は膨懸 直接帶大人業該ありたし

武験前日迄(本報) 東京静田駿河泰野(漢) 本報 東京静田駿河泰田(東京) 本報 東京静田駿河泰田(東京) 四月七日、十八日

明治製菓賣店

大用年齢十六歳より十八歳と高小 充業程度履歴書持零年後二時より 五時迄に御米店あれ市話手紙照官 女店員

特別。全贝

部(註,剛政)以論四月九日,十一日

ので見よいカギにて申込安富東和家内意思す、京城内の八九、丁目 ツラタ 時計局として市内に臨保を受する場合画派として市内に臨保を受する場合画派として市内に臨保を受する場合画派として市内に臨外を使見、漢達成の 側結 甘華のは薄価級の 通過者であり 時 計 接給汽車に高かき途

型印が、御自慢の長塔を隔々と微 らやつと解説されたお年がり

井醫院

1位以間の形と

的原活科新战 別・循環線炎・) お髯自慢の

部本一六七七番

大度し 知識が小人敬は込み

其の室の患者に、智美は眼でチ

な紙片が置かれてあつた。智美は女の小さな単子の上に、日い小さ

の時は、私で私の母を、なんとか

情あるお洞なれど是ばかりはどうの野は漢字と供に消ゆるもいとは

それよりほかになかつた。

同二時(東) 世の時間、佛放の世、同九時(東) 争交悪業 同二時(東) 世の時間、佛放の世、同九時(東) 争交悪業 報告を表した。

内を八時半富士松喜久翁外新郷漁等生真の段

蒸無斷上演映廊

署美は、心で絶景の叫ひをあげ、「昨角の幸福が、 ころで、提覧からがら! と打聴 るので月三十組しか扱けない。三 近角の幸福が、もう一足といふと フェーネし、『 自和のる 愛さる

簡単に確められなくなっし、継ば

きのまとに引がせて互びに組る場。なく下へ下り立つて二人が概を明



七日番組

唯一つだつた。 併し、彼女の考べ及ぶところは

・
すみません。
弘わ、
今駅
た人に 智美は始めて吻とした。

だった。いろいろと有種うござ 【二局】	七龍かにお親外になりちゃど、人も行つちゃつたでせうから、人も行つちゃつたでせうからし、 いくですよ。 だけど貴女
	流

步步步 玉

争爾血戰譜。 闘は三八玉迄の局面

会 石

銀

曜で共の登音は、入口の方へ群か (私どうしよう? 私どうしゃう

| 法界品(二) 湯次で年前七時一分(京)明の修言

女子教育に関する正質の考へ方 同九時 映画物語 宇 承司10時30分(家) 組入の時間 同八時三0分 四朝三丁 貞

富士松 克久翁

メヌマによって

して抱けかしの駆法だが、「この六三銀は相當に必の生せしめられる事を極度に心配」けば苦美にまざらして、

太田在で図者をしてゐる叔父の世 話になってゐたところが叔父が急

清く美しく

香はしくあれ

い者間志のこと、脳んで一文な

最金易]即

電摩君の四八銀は何時でも五七 | 砂葉があるが、

中語長五〇長一〇八香 門語/将/連/株/八香|配 日鮮/将/連/株/八香|配 記(網問台・越下庭帳 記(網問台・越下庭帳

仁川出帆

不作出现。 代理店 四 代理店 四

詳細い左記(御照會設下度候

班日午後十一時出机

九州郵船株式會社

鳴谷汽船株式會社

2月、靑莊、凾窩、小椒 5中,伏木亘行,新瀉、酒

·12三番四月二日本昭 四月二日本昭

大阪岡船様式宣赴(川代理店 株式會赴 慶 田 組 株式會赴 慶 田 組 株式會赴 慶 田 組 社 一番 (南出) 七二番 ・北八四番 (九神) 二二〇番 (富 山 二十七八番 (見望)

日本線代理店イリス商會 - 手級 製匠柳生 喬店

毫 北 大 連 奉 天 福 岡 嗣 嗣 戸 名古屋 ステーション エ 部 東京市赤阪區溜池町一五樓町-開売の御田會へ左配へ リス商會

のむなり



すらはねにゃく ノずらかひにザキ /さよのピノ よの香 のち落!さ 131

井田京祭 g.,

痛性苦痛だ

-

頭

光原 防鹿